

取組概要

当校は、全国で唯一の全寮制総合学科高校として平成7年に開校された県立高校である。当初より「自主自律の精神の育成」を教育目標として、「自ら考え、自ら学び取る力の育成」をめざすとともに、大台町唯一の高校として、地域と連携した様々な取組を展開し、学校の魅力化・活性化に取り組んでいる。

1. 地域と連携した主な取組

(1) インターンシップ

平成29年度より地元大台町商工会の協力を得ながら、2年生全員が参加する3日間のインターンシップを実施している。また、令和4年度からは、1年生の希望者を対象として、仕事や自己の適性を理解するために、1日のインターンシップを実施するとともに、成果を発表する取組を行い、体験的な活動を充実させている。

(2) 地域を理解する学習（1年生）

町の基幹産業である林業を学んだり、地域の郷土菓子作りを体験したりする「大台町探検」を通じて、地域を理解する学習に取り組んでいる。また、町内の経営者等へのインタビュー内容をまとめて発表する「聞き書き講座」を実施し、生徒のコミュニケーション能力や文章校正力、表現力を育成している。

(3) 各系列での学習（2年生以降）

総合学科の学びの特色をいかし、環境技術系列での治水と利水について学ぶ地域のダム見学や地元特産品であるお茶作り体験、美術工芸系列での地域の基幹産業である林業について学ぶ実生栽（樹木の盆栽）の取組など、地域を題材とした多様な学びを実践している。また、生活福祉系列では、介護施設等での実習に加え、小学生への車椅子体験教室や特別支援学校との交流授業を行うなど、近隣の学校と連携した取組も行っている。

令和5年度からは、学校設定教科「大台研究」を新設し、各系列での学びを統合し、地域の魅力発信を行うとともに、地域の活性化に向けた提案を行っている。

(4) 生徒寮での取組

全寮制をいかし、地域で活躍する方を寮に招いての講演会を行ったり、土・日曜日には、生徒が地元の方と共に地域の清掃活動を行うなどのボランティアに出向いたりするなど、学校の授業以外でも、地域と結びついた活動を充実させている。

2. 取組の成果

地域の特色や産業を題材として、地域住民や職業人など実社会を感じることができる多様な人々と関わりながら、生徒が卒業後の自らの姿を想像しながら主体的に考え行動する学習活動を充実してきたことによって、生徒の社会で活躍する意欲や能力の向上が図られた。また、学習に対して目的意識を持って取り組んでいる生徒の姿が見られるようになってきた。

さらに、当校では、放課後の時間を活用した「すばる Time」を設定し、生徒一人ひとりの習熟度や進路希望に応じて必要な基礎学力や主体的に学ぶ態度を育成する機会を通して、生徒の希望する進学や就職の実現につなげている。また、内閣府地方創生推進室主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2023」などのコンテストや三重県教育委員会主催「みえ探究フォーラム」などの発表会等へ応募や参加する生徒が多数見られるようになってきた。